



第34回例会

平成19年3月14日(水)  
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者の紹介と会長挨拶
- 5 お食事をどうぞ
- 6 GSE 丹治史行様 ご挨拶
- 7 ゲストスピーチ

国土交通省 福島河川国道事務所  
事業対策官 遠藤隆一様

- 8 各委員会報告
- 9 閉会点鐘

会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



お客様の御紹介を申し上げます。  
GSEとなりました、丹治史行様、  
ゲストスピーカー国土交通省 福島  
河川国道事務所 事業対策官 遠藤  
隆一様です。有難うございます。  
皆さんこんにちは。今年は暖冬  
ということで春の訪れが早く、うぐいすの音がちらほ  
ら聞こえはじめたかと思いましたが、ここに来て不安  
定な気候となっております。どうぞ体調には十分お  
気をつけていただきたいと思います。

さて、識字率向上月間が今年度より7月から3月に変  
更となりました。識字率向上は1986年以来、国際ロー  
タリーの強調事項となっております。ユネスコの調  
べによりますと世界で9億人の人々は読み書きが出来  
なく、そしてその中の3分の2は女性です。今、ロータ

リー地域社会共同体では、読書のプログラムを企画す  
ること、学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館  
を援助することが要請されております。

地区目標にも識字率向上推進が掲げられておりま  
す。具体的には数年取り組んでおります中古辞書を開  
発途上国に送る運動です。又、書き損じのハガキの回  
収協力です。各クラブ会長、そして国際奉仕委員長宛  
ということで連絡が入りました。期間は3月25日から  
4月15日までの20日間の予定でございます。どうぞ  
ご家庭で不要となっている物がありましたら是非一冊  
の辞書でも一枚のハガキでも御協力お願い致します。

さて、本日は環境保全委員会の活動によりゲストス  
ピーカーといたしまして国土交通省 福島河川国道事務所  
事業対策官の遠藤隆一様をお招きしております。蛍の飛  
び交う川を目指し環境問題に取り組まれております。

では、ゲストスピーチを楽しみにご清聴お願い申し  
上げ挨拶と致します。

GSE紹介

丹治 史行様 挨拶



このたび福島南RCの推薦を頂き  
まして、4月22日から1ヶ月間、アメ  
リカ テキサス州の南部サン・アン  
トニオにGSEのメンバーとして派  
遣して頂く丹治史行です。よろし  
くお願い申し上げます。人生に二  
度と無い機会を与えて頂き、皆様に感謝申し上げます。

派遣地のロータリークラブへ例会出席、地区大会出  
席を行う予定です。10数クラブへのオリエンテーショ  
ンの内容をGSEメンバーで協議しております。

私共は、日本の文化と福島県の四季、おいしい果物が取  
穫できること、農家の方々が神に祈る姿を紹介します。

派遣地の文化を教えて頂き、帰国後は、皆様に紹介し  
たいと思います。

ゲストスピーチご紹介

環境委員長 本田 光男委員長



本日のゲストスピーカーのご紹  
介をさせていただきます。

遠藤様は、山形県米沢市のご出  
身です。9年前に福島市に来られ、  
西道路建設に関わってこられました。

湧水を使ってほたるを育てる活動をされておりました。  
その後、神戸、仙台、青森でほたるを育てる町づく  
り活動に関わっておられました。

水保全の環境保護にも関わる話でございます。

遠藤様よろしくお願ひ致します。

「ホタルを通してのまちづくり」

国土交通省 福島河川国道事務所  
事業対策官 遠藤 隆一 様



ご紹介にあずかりました遠藤で  
す。福島南RCの皆様には国道の清  
掃、阿武隈川の保全事業に参加して  
頂き有難うございます。

業務の中でホタルを媒介として行  
政だけではできないことを、地域の  
人と町づくりをしていることを紹介します。

ホタルは、世界に2,100種、国内に50種存在していま  
す。今から50年前は日本国内どこにでも棲んでいたホ  
タルですが、ゲンジホタル、ヘイケホタルが土中、水中、空  
中に生育しています。そのホタルの餌はカワニナです。

第2次世界大戦の頃、日本人の蛋白源確保の為、食用蛙  
をアメリカから輸入し、繁殖させました。その食用蛙の  
餌はアメリカザリガニです。今では福島でも広い地域  
にアメリカザリガニが繁殖し、生態系が変わってしま  
いました。



竹下内閣の時、ふるさと創成  
として創られた福島の「ホタル  
の里」はアメリカザリガニの里に  
なっていました。米国人に  
はホタルは光る虫ですが、日本人  
にとっては、人の心を捕らえる生  
物です。これは文化の違いでしょう。

私の体験をお話します。

平成5年に福島で西道路建設着工時に水神の池をホタ  
ルの棲める池にしようと地域の方々と協力しまして、そ  
のことが実現され、今では大いに喜ばれています。

平成6年と7年、神戸で阪神大震災の復興事業に携わり  
ました。神戸市真野地区という所は、1970年代より「ホ  
タルの棲める所が人の棲める証である」をスローガンに  
まちづくりが行われていた所です。

震災の時、真野地区はまちづくり協議会と、そこにある企

業が協力して被害を小さく食い止めた実績があります。  
仙台市長町地区で、ホテルの観察小屋を造る活動が行  
われました。青森市でもホテルを保護する活動が行わ  
れています。

ホテルは人を集めてくれます。お役に立てることが  
あれば連絡して下さい。有難うございました。

今日のメッセージ

ゲスト遠藤隆一様のスピーチを記念して  
(齋藤ミヨ、黒羽好夫、廣澤俊樹)

本日はホワイトデー、全ての女性に感謝申し上げます！  
(福田順一)

無事これ名馬、今回はつくづく身にしみて感じました  
冤罪って起こるんだなあ (富田健三郎)

母の葬儀に忙しい中多くの会員の皆様に御会葬、焼香  
を承り有難くお礼を申し上げます。(加藤哲男)

今月・来月のプログラム

- 4月 4日(水) PETS報告 武藤正隆会長エレクト
- 4月11日(水) 福島西RC 米山奨学生 陣辰さんスピーチ
- 4月18日(水) 家族観桜会  
(18:30~アサヒビール園四季の里店)
- 4月19日(木) 東北第一区ロータリー研修会  
(10:00~サンパレス福島)

編集担当 齋藤 実